



# SGG REPORT

第29回

## オーシャンカップ

7/23~28 ボートレース大村

優勝戦、2マークを先行する茅原



岡山支部の藤原啓史朗と吉田拡郎から祝福される



### 茅原悠紀がチルト1度を選択 2マーク逆転で感涙のSGV2!!

異常気象が連日話題になった7月下旬。しかし今回の大村では、おおむね水面状況には恵まれた。お検時に話題になったのが、グランドチャンピオンで24件もあったエンジン整備の「セット交換」。

今節はそれを行わないというルールを設けた。また今節は新エンジンを導入して5節目。各機はまだ2〜3節しか乗っておらず、2連対率などの数字はあてにならない。実際にレースが始まってみると、

確かに機歴と成績はほとんど連動しなかった。3日目を終えて、ワーストの数字だった山口剛がトップ。菊地孝平や瓜生正義も20%台

の機だったが、得点上位をキープした。もちろん高勝率機がそのままパワーを発揮した例もあり、磯部誠や遠藤エミラの機は、本体の良さをうかがわせた。

予選をリードしたのは、開幕3連勝した土屋智則、ドリーム勝ちの峰竜太、それに山口、菊地ら。勝負駆けに成功したのが茅原悠紀、毒島誠、西山貴浩らだ。普段はインが激強の大村だが、今節は予選の日を追うごとにインが飛ぶレースが増えた。

それでも準優は3レースとも1号艇が逃げ、3コースが2回、4コースが1回2着に続いた。イン

## 準優9R

好バランス・齊藤が踏ん張る					
着順	艇番	予想	選手名	進入	ST
1	①	◎	齊藤 仁	1	08
2	④	△	磯部 誠	4	14
3	⑤	×	毒島 誠	5	13
4	②	○	宮地 元輝	2	12
5	⑥		西山 貴浩	6	16
6	③		土屋 智則	3	06

2連単 ①-④ 680円 3番人気 逃げ  
3連単 ①-④-⑤ 2320円 10番人気

## 準優10R

2着争いは椎名が競り勝つ					
着順	艇番	予想	選手名	進入	ST
1	①	○	菊地 孝平	1	13
2	③	◎	椎名 豊	3	19
3	④	△	石野 貴之	4	15
4	②	×	瓜生 正義	2	18
5	⑥		中田 竜太	6	12
6	⑤		篠崎 元志	5	13

2連単 ①-③ 350円 2番人気 逃げ  
3連単 ①-⑤-④ 1140円 4番人気

## 準優11R

山口が鉄壁の逃げ					
着順	艇番	予想	選手名	進入	ST
1	①	◎	山口 剛	1	04
2	③	△	茅原 悠紀	3	09
3	②	○	峰 竜太	2	10
4	④	×	島村 隆幸	4	13
5	⑥		坪井 康晴	6	16
6	⑤		遠藤 エミ	5	14

2連単 ①-③ 290円 2番人気 逃げ  
3連単 ①-③-② 640円 2番人気

## 優勝戦メンバー

予想	艇番	選手名	F・L	モーター		今回成績					
						1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	
						コース・スタートタイミング					
◎	◎	① 山口 剛		★	◎	◎	② 三11	①② 四07三20	① 一13	⑤② 五13二03	① 一04
○	○	② 菊地 孝平		○	◎	◎	④ 二11	①③ 五11一06	② 六06	③② 四05三05	① 一13
△		③ 齊藤 仁		◎	○	○	④ 六15	① 一16	④② 三08四07	① 四14	① 一08
×	△	④ 茅原 悠紀	F	○	◎	★	⑥ 五12	④② 二21四07	③② 六14三09	① 一15	② 三09
		⑤ 椎名 豊	F	○	○	◎	① 一08	②⑤ 二08六16	② 三06	③ 六15	② 三19
	×	⑥ 磯部 誠		◎	○	○	③ 六11	④① 二12一20	① 三14	⑤ 五19	② 四14

### 展示速報での採点

#### 12R

- 1 山口 剛 ☆☆☆☆★
- 2 菊地孝平 ☆☆☆☆
- 3 齊藤 仁 ☆☆☆★
- 4 茅原悠紀 ☆☆☆☆
- 5 椎名 豊 ☆☆☆
- 6 磯部 誠 ☆☆☆☆

\*当日のスマホマクールで配信したものです

## 優勝戦結果

着順	艇番	予想	選手名	タイム	進入	ST
1	④	△	茅原 悠紀	1.48.5	4	08
2	①	◎	山口 剛	1.50.1	1	10
3	⑤		椎名 豊	1.51.6	5	07
4	⑥	×	磯部 誠	1.53.0	6	10
5	③		齊藤 仁		3	10
6	②	○	菊地 孝平		2	11

2連単 ④-① 1230円 5番人気 抜き  
3連単 ④-①-⑤ 4510円 18番人気

に直にけん制される2コースよりも、自在に動ける3、4コースの方が2着取りには向いたようだ。そして優勝戦のメンバーが揃った。ポールポジションの1号艇には、出足抜群の山口。当然ながら圧倒的な人気を背負う。今回のメンバーでSG実績でいえば断然なのがV5の2号艇・菊地。しかもそのうち3回が2号艇とゲンがいい。3号艇にはSG優出が7年7か月ぶりとうたの齊藤仁。4号艇は、予選最終走で初1着を手にした茅原悠紀。5号艇の椎名豊は伸び寄りの仕上がり。6号艇の磯部は出足が強く、混戦になったら出番もありそう。展示航走では、山口の足は盤石に見えた。菊地は伸びなら山口と互角。齊藤も好バランスをキープ。茅原がチルトを1度に跳ねて、カドから伸びて襲い掛かるか。優勝戦の展示時刻を迎え、大村水面はほぼ無風で、鏡のように美しい舞台が用意された。



6艇はスタート展示同様、艇番通りの3対3で進入。ほぼ同体で大時計前を通過。ほぼ揃ったスタートに見えたが、スリット直後から茅原悠紀がぐんぐん伸びてきた！これぞ1度の効果か、一気に内3艇を飲み込む勢いだ。しかし出足が強力なイン・山口まではまくれない。1マークでは山口が内から茅原をけん制気味に回り、さらに茅原に乗って内を差した椎名が進出。BSでは外から茅原・山口・椎名で並走した。勝負どころとなったのが2マークだ。椎名が先に入ってくるが、山口が外から握ってきた。これに椎名も応戦。しかしそこにポツカリと大きな差し場が開いた。茅原が両艇を一気に差し切り、2周ホームには先頭で戻ってきた。3艇身ほど後方に椎名を振り切った山口が続き、4-1-1-5の着順がほぼ確定。そのまま周回を重ねてゴールを通過した。茅原にとっては9年7か月ぶり2度目のSG制覇。久々のビッグタイトルに、ピットに戻ると涙を浮かべてこぶしを突き上げた。

## 戦い終わって—

### 山口剛(2着)

(インから)持ったかと思っただけ…。でも⑤(椎名)も半艇身ぐらいかかっていたし、(2マークで)先に行かせて差しても届かなかったと思う。でもやれることはやった。

### 椎名豊(3着)

もう少し出足が欲しかったです。もっとエンジンを出せないと勝てませんね。

### 磯部誠(4着)

芯は食ってなかったけれど、こんなものかという感じでは行けました。今年の下半期は、この優出でリズムを上げていきたい。

### 齊藤仁(5着)

スタートをもう少し行きたかったですね。でも自分のやれることはしたと思うし、仕上がりが良かったです。

### 菊地孝平(6着)

仕上がりは悪くなかった。それよりも茅原選手が素晴らしかった。また頑張ります。

優勝戦は結果的に、SG優勝歴1回という4選手が上位を占めた。茅原は19回目の優出で、14年のグランプリで大外から差して優勝した時から数えても14回目。昨年は何と6回もの優出を重ねていた。山口は15回目の優出。一昨年は準優勝が3節続いた。またまた準優勝となってしまったが、前日に「失敗の度に強くなっていくと信じている」とコメントしていたように、次のチャンスはまた近いうちに来るだろう。

2マークまでは夢を見たであろう、3着の椎名。こちらは一昨年のこのレースで、初出場でいきなり優勝して以来のSG優出。最近の群馬支部の活況に刺激を受けているという。4着の磯部は早くも5回目の優出。昨年も3回優出しているように、安定感はどうも増している。

優勝戦メンバー以外で、予選道中を盛り上げた選手も簡単にピツクアップしておこう。

まずは島村隆幸だ。予選道中6走を全てゼロ台発進と攻めまくっ

予選前半で3連勝と突っ走った土屋智則



た。毒島は予選落ち濃厚の40位前後から連勝で準優入り。とくに最終走では2コースからキツチリ差し切ったのはさすがだった。

2年前の当地クラシックで女子初のSG制覇に輝いた遠藤は、今回も「夢再び」と期待を抱かせた。渡邊優美は勝負駆けの予選最終走でインからのFに散ったが、予選を軽快な足色で盛り上げた。再びSGの舞台で見てみたい。

## SG優勝1回組が上位を独占 予選道中を沸かせた島村と遠藤

## 2回目の優勝ができて嬉しい チルト1度は今日決めました

— まずはSG優勝おめでとうございませう。率直な気持ちはいかがですか？

— めちゃくちゃ嬉しいですね！涙が自然にあふれてきました。

— 2回目の優勝ですが？

— それが出来たのが特に嬉しいですね。2回目はどうして勝てないのかならなくてずっと思っていたんです。10年近く獲れていなかったです。すからね。本当に遠かったです。

— チルト1度がポイントになったと思いますが、そうしようという決めたのですか？

— 今日です。一応特訓や試運転でも確かめて、伸びはもちろん回り足も良かったので。

— チルト1度は初めてということでしたか？

— そうなんです。これまでやったことがなかったけれど、1着狙いなんだから「1」というゲンもかかりで(笑)。

— スタートの目標は？

— 10ぐらいを目標に。08なら良かったと思います。

— 1マークはまくって行った。

— 1(山口)まではまくり切れなかった。足の強さはさすがだなと思いました。これまでかな、と一瞬は思いましたけど…。

— それが2マークで展開が開けた。1と5(椎名)が競り合いになる動きは見えただけですか？

— はい、それははっきり見えませんでした。椎名君がいい仕事をしてくれ

ウィニングランでファンの声援に応える



ましたね。「決まり手は椎名君」と言ってもいいくらいです(笑)。

— 先頭に立った後は？

— (山口) 剛さんの出足だとあきらめてはいないなと思ったので、後はしっかりと回りました。

— 去年はSG優出ラッシュだったのに、今年は今ひとつのリズムだったようですが…。

— そうなんです。今年のSGは準備にも乗れないで、全然ダメでした。これをきっかけに、下半期では頑張ります！



① 強出足を誇るも展開に恵まれず惜敗の準V・山口剛 ② 優出3着は一昨年の当レース覇者・椎名豊 ③ 堅実に優出を重ねている磯部誠は大外から4着 ④ 7年7か月ぶりのSG優出(5着)を果たした齊藤仁 ⑤ 夏に強い菊地孝平も調整を重ねて優出(6着)



⑥ 本体のパワーを生かして前半戦をリードした遠藤エミ ⑦ 予選6戦全てをゼロ台スタートでまとめた鳥村隆幸 ⑧ 毎年夏場からリズム上昇の石野貴之は優出にあっという間に ⑨ 持ち前の気迫に加えて安定感も出てきた宮地元輝 ⑩ 地元の原田幸哉はF2と凡機で苦戦したのが残念だった

